

第16課 時(2) 梅雨

時(2) 梅雨



日本には春、夏、秋、冬の4つの季節のほかに、毎年6月の中旬から7月の中旬にかけて雨がちの天気が続く季節がある。それが梅雨である。日本列島は南北に細長いため、地方によって梅雨の時期も雨量も異なる。沖縄は最も早く梅雨に入り、そして早く梅雨が明ける。北海道には梅雨がない。

確かに梅雨の間はしとしととよく雨が降るのだが、ときどき夏のような青空が広がることもある。また、年によって雨らしい雨がほとんど降らないときもあれば、集中的に降り、各地で洪水による被害が出ることもある。しかし、雨は大切な水資源なので、雨があまり降らないと夏の間の水不足が心配になる。

また、梅雨の間は湿度が高くなり、じめじめした日が続くので、晴れた日には窓を開け、部屋や押し入れに風を通したり、湿った布団^{ふとん}を干したりする。それをしないとカビが生えることもある。それに、気温と湿度が高いと食べ物が腐りやすいので食中毒にも気をつけなくてははいけない。冷蔵庫に入れたものは忘れがちだが、悪くならないうちにできるだけ早く食べてしまうことだ。

ところで、毎年気象庁から梅雨明けが発表される。梅雨のうちは気分も湿りがちになるが、この発表があるとそんな気分も晴れる。やはりじめじめした日よりもからっと晴れた日のほうがいいものだ。商売をしている人たちにとってはこの発表はもっと重要なことだ。いつ明けるかによって、商品の生産量や出荷の時期が大きく異なるからだ。ビールはその影響をかなり受ける商品の1つだそう。ちなみに梅雨がなかなか明けないと水着もあまり売れないらしい。

中旬 ～がち
梅雨 列島 南北
細長い 地方 時期
雨量 異なる
明ける しとしと
青空
集中的に
洪水
資源

湿度 じめじめ
湿る 干す カビ
食中毒

梅雨明け
からっと
商売
出荷
水着

第16課 時(2) 梅雨

■ 本文設問

- (1) 梅雨はどんな季節ですか。
- (2) 梅雨の時期に注意しなければならないことはどんなことですか。
- (3) 商売をしている人にとって、気になることは何ですか。
- ◇ 水着以外に梅雨の影響を受けるものにどんなものがあるでしょうか。

■ 本文新出語 (★は文型で学習)

| | | | | | | | | | |
|--------|---------------------|------------------|-------------|-------------------|-------------|------------|--------------|-------------|-------------|
| 名詞 | ちゅうじゆん 中 旬 | つゆ 梅 雨 | れっとう 列 島 | なんぼく 南 北 | ち ほう 地 方 | じ き 時 期 | う りよう 雨 量 | あおぞら 青 空 | こうずい 洪 水 |
| | (水) 資源 | しつど 湿 度 | かび か び | しょくちゅうどく 食 中 毒 | 梅雨明け | みずぎ 水 着 | | | |
| い形容詞 | はそなが 細 長 い | | | | | | | | |
| 名詞／動詞Ⅲ | しょうばい 商 売 (する) | しゅっか 出 荷 (する) | | | | | | | |
| 動詞 | こと 異 なるⅠ | つゆ (梅雨が) 明けるⅡ | しめ 湿 るⅠ | ほ 干 すⅠ | | | | | |
| 副詞 | しゅうちゅうてき 集 中 的 に | からっと | | | | | | | |
| その他 | ★～がち | しとしと(→関連語) | じめじめ(する) | | | | | | |

[基本動詞の用法]

- ・(被害が)出る (風を)通す

[動詞と名詞の結び付き]

- ・「明ける」：梅雨が明ける→「梅雨明け」、夜(よ)が明ける→「夜明け」
- ・「生える」：かび、髪、ひげ、歯

■ 単語の意味の確認 (単語を入れなさい。必要なら形を変えなさい。)

【 出る* 明ける 干す 湿る 異なる 生える* 】 * 印は既習

- (1) やっと梅雨が()。
- (2) パンにかびが()。
- (3) 大雨で各地に被害が()。
- (4) 洗濯物をベランダに()。
- (5) 布団が()いて気持ちが悪い。
- (6) 国籍も年齢も()人たちが一緒に勉強している。

第16課 時(2) 梅雨

■ 文型・表現

「時」の文型・表現(2)

(1) ～うちに (※「その状態が変わる前に」という気持ちが強い) → ★ L.6 文型「～間に」

1) 名詞

1. やっと子供が寝た。今のうちに洗濯をしまおう。
2. 朝のうちに勉強をすませて、午後は出かけるつもりだ。

2) い形容詞、な形容詞

1. 若いうちにいろいろな経験をしたほうがいい。
2. 両親が元気なうちに、一度海外旅行に連れて行ってあげたい。

3) 動詞 (「いる」「ある」)

1. 先生が学校にいるうちに、分からないところを質問する。
2. 電車があるうちに帰りたい。タクシーで帰ると1万円以上かかるからだ。

4) ～ている(1)＜状態＞

1. 子供たちが学校に行っているうちに、部屋を掃除する。
2. 先生が黒板のほうを向いているうちに、おにぎりを1つ急いで食べた。

5) 否定形

1. 電話番号を聞いたので、忘れないうちにメモしておいた。
2. 暗くならないうちに帰りましょう。(＝明るいうちに～)
3. 冷めないうちにどうぞ召し上がってください。(＝熱いうちに～)

注)「～てから、それをする」のが普通なのに「～する前にそれをする」という気持ちが入る場合がある。

4. 映画が全部終わらないうちに、お客が帰り始めた。
5. 花が全部咲かないうちに、だれかが切ってしまったようだ。

6) ～ている(2)＜動作＞(＜状態＞)

(※4と違って、「その間に自然に何かが起こった」という意味)

1. 本を読んでいるうちに、眠くなってしまった。
2. 用事があって出かけたのだが、途中で友達と会って話しているうちに、用事を忘れてしまった。
3. 初めはあまり好きではなかったが、付き合っているうちに、だんだん好きになってきた。

第16課 時(2) 梅雨

4. 友達からの手紙を読んでいるうちに、涙が出てきた。
5. この町に住んでいるうちに、この地方の方言が身についた。

(2) AからBにかけて (※AからだいたいBのころまで)

注)「～から～まで」と違って、期間をはっきり示さない。そして＜連続＞ではない場合もある。

1. 今晚からあすの朝にかけて、雨が降るでしょう。
2. 年末からお正月にかけて海外で過ごす人たちがかなりいる。
3. この髪型は80年代の終わりから90年代のはじめにかけて流行した。

注)＜場所＞を表す場合もある。

4. 関東地方から東海地方にかけて、弱い地震があった。
5. この辺から次の駅にかけて、屋台がたくさん出ている。

その他の文型・表現

(1) ～がち

1) ＜名詞＞がち (※そのような状態が多い ※用例は少ない：慣用句)

1. うちの子は病気がちだ。
2. このごろは曇りがちの日が続いている。
3. 梅雨の時期は雨がちの天気が続く。

2) ＜動詞(ます)形＞がち (※そのような悪いことになる傾向がある)

1. 田中さんは最近体をこわして、会社も休みがちだ。
2. 雨の日には電車の中に傘を忘れがちなので気をつけましょう。
3. 一度大きな失敗すると「自分はだめな人間だ」と考えがちだが、あきらめてはいけない。
4. ストレスがたまると、つい食べすぎてしまいがちなので気をつけよう。
5. A「人間は悪いほうにばかり考えていると、本当に悪いことが起こりますよね」
B「うん。そういうことはありがちなだね」

第16課 時(2) 梅雨

(2) (いかにも)～らしい、～らしい～

(※典型的：その人、ものごとの特徴がよく現れている) → ★L.5「～らしい」(※伝聞)

1. A「近藤さんはきのう慌てて家を出たので、くつ下の右と左が別々なことに気がつかなかったらしいよ」
B「いかにも彼女らしいね」
2. 首相のインタビューを聞いたが、いかにも政治家らしい答え方だった。
3. 花子さんは小学生の時は男の子のようだったけど、大きくなるにしたがって女らしくなってきた。
4. 「宿題をしないで学校に来るなんて、キムさんらしくありませんね。何かあったんですか」
5. 最近、雨らしい雨がぜんぜん降らない。
6. 子供のころから病気らしい病気にかったことがない。

(3) <動詞辞書形／ない形>ことだ

(※「～したほうがいい／～しなさい」の意味で使う硬い表現)

1. 優勝したければ、もっと勉強することだ。
2. 人から信頼されたかったら、うそはつかないことだ。
注)書き言葉では「～こと」で文章を終える。意味は「～てください」「～しないでください」
3. 集合場所：学校ロビー
集合時間：午前9時半(遅刻しないこと)

■ 文型・表現練習

(1) ～うちに

1. 独身のうちに_____。
やはり結婚するとなかなかできないからだ。
2. 「ジュースをどうぞ。遠慮なさらないで、どうぞ_____」
3. A「かぜをひいたようです」
B「ひどくならないうちに_____たほうがいいですよ」
4. _____うちに、相手は電話を切ってしまった。
5. _____、だんだん国に帰りたくなってきた。

いかにも 首相 インタビュー(する) 政治家 信頼(する)

第16課 時(2) 梅雨

(2) ～から～にかけて

1. _____から_____にかけて、地震が数回あったらしいけど、私は寝ていて全然気がつかなかった。
2. 日本では、大学の入学試験はたいてい_____から_____にかけて行われる。
3. 都会の朝の通勤ラッシュはすごい。だいたい_____から_____にかけてが一番込むようだ。

(3) ～がち

1. 土日は天気が良かったが、月曜からはずっと_____がちの日が続いている。
2. このごろキムさんは学校を_____だけど、病気だろうか。
3. 安いと、つい_____てしまいがちだ。要らないものは買わないようにしよう。
4. 『二度あることは三度ある』と言われていています。悪いことは_____だから気をつけてくださいね」

(4) ～らしい、～らしい～

1. ケン「この仕事ができるかどうか自信がないんです」
キム「_____らしくないですね。いつものように自信を持ってやってください」
2. 梅雨はまだ明けないようですね。7月の終わりなのになかなか_____なりませんね。
3. 男「最近男女平等ということがよく言われるけれど、やっぱり_____らしさとか_____らしさというのはあったほうがいいんじゃないでしょうか」
女「男は強く、女は優しくなければいけないなんて考え方は古いですよ」
男「そうですか・・・」
4. 木村さんは今まで仕事で_____らしい_____をしたことがない。
一方、田中さんはミスばかりで部長にしかられている。

第16課 時(2) 梅雨

■ 作文練習

◇ 学習した文型・表現を使って文章を書いてみましょう。

<トピックの例>

- ・ 『私の国の季節』：あなたの国の季節について書きましょう。
(1年間でも1つの季節についてでもいいです)

■ 関連語の学習 (下線は新出語)

1. 天気についての単語、雨・風の擬態語

- ・ 雨／雪が降る、風が吹く、雷^{かみなり}が鳴る／落ちる、霧^{きり}が出る
- ・ 晴れる／晴れ、曇る／曇り
- ・ 雨が ばらばら／しとしと／ざーざー(と) 降る
- ・ 風が そよそよ／びゅーびゅー 吹く

2. 自然災害に関連する単語

- ・ 洪水、地震、雷、火事^{かさい}(火災)、(火山) 噴火^{かざん ふんか}、津波^{つなみ}

■ 聴解ミニテスト



◇ 録音をきいて答えを1～4の中から選んでください。

□ 聴解新出語：賞味期限^{しょうみ きげん}

答 1 2 3 4